

根据日本语能力测试出题基准（最新修订版）编写

日本语能力测试

1 级 真题阅读难点解析

主审 ◆ 徐一平（中） 阿部敏夫（日）

主编 ◆ 张 敏 朱 佳

- ✓ 考前冲刺
- ✓ 专家指导
- ✓ 传授技巧
- ✓ 突破难点
- ✓ 快速提高

《新日本语能力测试》系列丛书·真题解析系列

日本语能力测试

1级 真题阅读难点解析

主编：陈一丹 副主编：陈一丹 王 颖

编者：陈一丹 王 颖 李 颖



ri ben yu neng li ce shi

日语能力测试

yi ji zhen ti yue du nan dian jie xi

1 级真题阅读难点解析

主 审	徐一平(中)	阿部敏夫(日)	
主 编	张 敏	朱 佳	
编 委	刘 剑	王 华	刘顺成
	郭丽丽	李东梅	张 旭

大连出版社

© 张 敏 朱 佳 2006

图书在版编目(CIP)数据

日语能力测试1级真题阅读难点解析/张敏,朱佳主编. —大连:大连出版社,2006
ISBN 7-80684-370-1

I. 日... II. ①张... ②朱... III. 日语—阅读教学—水平考试—自学参考资料
IV. H369.4

中国版本图书馆CIP数据核字(2006)第004136号

责任编辑:李 岩 代 勇
封面设计:林 洋
版式设计:李 岩
责任校对:呼 喃

出版发行者:大连出版社

地址:大连市西岗区长白街10号

邮编:116011

电话:0411-83620941 0411-83621147

传真:0411-83610391

http://www.dl-press.com

E-mail:cbs@dl.gov.cn

印 刷 者:大连理工印刷有限公司

经 销 者:各地新华书店

幅面尺寸:185 mm×260 mm 1/16

印 张:12

字 数:250千字

出版时间:2006年2月第1版

印刷时间:2006年2月第1次印刷

印 数:1~7000册

定 价:18.00元

前言

まえがき

一直以来,“阅读”在日本语能力测试中占有举足轻重的位置,其颇具诱惑力的分值,不得不引起广大考生的极大关注。然而市面上所能见到的有关真题阅读方面的书籍,大都不尽如人意,对阅读文章中句型语法的讲解有的过于简单,有的则不够严谨,很多地方都不太合乎规范,甚至有的连所举例句都不是对应级别的,诸多的不足导致现有的辅导材料能切实有效地帮助考生提高阅读能力的真的是凤毛麟角、少之又少。

真题阅读的解析要想做好,一定要下工夫,突出精细的特点,不但要翻译,而且要把跟问题有关的语句和段落挑出来分别进行精讲、细讲,并且要给出疑难词汇的解释、相关的例句。最为关键的,也是目前市面上同类书所不具备的——那就是要针对问题和答案进行深入细致的分析,指明问题问的是什麼,发问的规律是什麼,备选答案有什麼迷惑性。这才是广大考生最为关注的焦点。而这样的真题阅读解析也才是考生们所迫切需要的。我们正是急广大考生之所急,组织一流的作者队伍,编写了《日本语能力测试1级真题阅读难点解析》,编者通过对近几年1级阅读真题的归纳和梳理,结合多年来对考生的辅导经验,阐明规律并提出了相应的解题方法。为了便于考生学习和掌握,我们特将阅读题目的难度等级由低到高分爲1—5,1为最低级,5为最高级,考生可结合自身的实际情况去关注相应难度等级系数的题目。当然,随着学习水平的不断提高,所选择阅读题目的难度系数自然也会不断增大。相信该书一定会成为广大考生攻克1级阅读难关的得力助手。

编者

2006年1月

目录

もくじ

阅读答题技巧・做好1级阅读的20个关键句	1
2000年日本语能力测试1级读解	4
2001年日本语能力测试1级读解	23
2002年日本语能力测试1级读解	41
2003年日本语能力测试1级读解	60
2004年日本语能力测试1级读解	78
仿真测试题	99
专栏阅读练习	166

阅读答题技巧

做好1级阅读的20个关键句

这些句型虽然不常见,有时并不会在1级语法题目里出现,但是会出现在阅读文章中,再加上因为比较生僻,所以经常令考生不知所措。

1 ~が早いか

前接动词基本形,表示前一动作刚刚进行完毕,后一动作便紧接开始。其后项时态一般为过去时,前后项可以同属一个动作主体,也可以分属两个不同的动作主体。可译为“刚一……就……”。

例:席につくが早いか、すぐベルが鳴り出した。/ 刚一坐到座位上,铃就响了。

2 ~を皮切りに

前接体言,表示“以……为开端……”,一连串同类事项的起始。另有「~を皮切りにして~」「~を皮切りとして~」等惯用形式。

例:彼が歌い出したのを皮切りに、みんな歌った。/ 他开了头,大家都唱起了歌。

3 ~つつ

前接动词连用形,在由「AつつBつつ」构成的句式中,表示A、B两个动作不断反复,交替进行,B一般是A的反义词或被动态。

例:今回の1位、2位は抜きつ抜かれつの接戦だった。/ 这次的第一名和第二名你追我赶,胜负难分。

4 ~こととて

前接「体言+の」、文言否定助动词「ぬ」及用言连体形等,表示理由、根据。属书面用语,在口语中多用于郑重的场合,且后项谓语可用命令等表示个人意志的形式结句。可译为“因为……所以……”。

例:会議中のこととて、会えなかった。/ 因为正在开会,所以没能见到。

5 ~ではあるまいし

前接体言、「用言連体形+の」,可译为“又不是……”。

例:冗談で言うのではあるまいし、よく聞きなさい。/ 这并非开玩笑,请好好听。

6 ~に至っては

前接名词或短语,表示谈到较前面极端得多的话题。可译为“至于……”。

例:何を読むかに至っては、別に判然とした考えはない。/ 至于看什么,并没有什么明确的想法。

7

～始末だ

前接用言连体形,表示事态发展的最终结果,该结果多为消极结果,并可与「この、あの、こんな、そんな、あんな」等复合。可译为“(落到)……地步”。

例:手が痛くて箸も持てない始末だ。/ 手疼得连筷子也拿不了。

8

～にかたくない

前接サ变动词词干,表示可以轻易地做到。可译为“不难……”。

例:彼が何をしたかは、想像にかたくない。/ 她做了什么,不难想像。

9

～とはいえ

前接体言或用言基本形,首先肯定前述事项,然后在后项提出与其相反的情况,属文言表现形式,多用于书面语。可译为“虽然……但是……”。也可置于句首,表示“虽然……如此……”等意思,起接续词的作用。

例:静かとはいえ、駅からちょっと遠すぎる。/ 虽说安静,但离车站远了点儿。

10

～といったらありゃしない

前接形容词、形容动词及具有形容词性质的名词,「とい」常被省略,表示前项无可比拟,具有消极意义。可译为“没有比这更……”。

例:この映画、くだらないといったらありゃしない。/ 这个电影别提多没意思了。

11

～そうかと言って～ない

表示对前述的内容予以承认并在后项提出与其相反的内容。可译为“虽说如此……但……”。

例:背が高くないが、そうかと言って低くもない。/ 个子不高,但也不矮。

12

～(ば)それまでだ

前接各类假定形式,表示情况如果如前所述则失去意义。可译为“如果……的话,就完了”。

例:仕事よりまず健康のことを考えるべきだ。仕事がよくできても、病気になってしまったらそれまでだ。/ 比起工作应该首先考虑健康,即使工作做得再好,如果生了病也就完了。

13

～きらいがある

前接动词基本形、「名词+の」,多用于消极的评价,表示有某种倾向、嫌疑。可译为“有……之嫌”“有……倾向”。

例:このような言うなら、独断のきらいがある。/ 如果这样说则有独断之嫌。

14 ~にしたって

前接体言、用言基本形,表示从诸多情况中确定或假定一项,后项得出不因前项实现而改变的结论。可译为“即使作为……也……”。

例:息子が東京大学に入れば、親にしたって鼻が高いでしょう。/ 儿子如果上了东京大学,即使作为父母也很自豪吧。

15 ~ないものか

前接动词未然形,表达一种强烈的愿望,希望难以实现的事情实现。多以「なんとか+可能动词未然形+ないものか」的形式出现,可译为“能不能……啊”。

例:彼はなんとか外国へ行けないものかとばかり考えている。/ 他满脑袋都在想能不能设法出国。

16 ~にたえる

前接体言、动词基本形,表示“忍受”“经得住”的意思,可引申为“值得”。

例:この建物はどんなに大きい地震にもたえることができる。/ 这座建筑无论多大的地震都能经得住。

17 ~にひきかえ

前接体言,表示后述事项与前项的状态、情况完全不同。可译为“相反”。

例:落ち着きのない弟にひきかえ、お兄さんはいつも冷静でしっかりしている。/ 和慌慌张张的弟弟相反,哥哥什么时候都沉着冷静。

18 ~をしりめに

前接体言,表示不把前项放在眼里,或蔑视前项的人事,与「~をよそに」都表示消极的内容,多用于批评谴责无视他人意见或法规的行为等,「~をよそに」表现不管不顾的行为,「~をしりめに」表现无视他人的态度及明知故犯、满不在乎的样子。可译为“无视……”。

例:親の不安をしりめに、妹は海外へ一人で旅立った。/ 妹妹不顾父母的担心,一个人去了国外旅行。

19 ~なりに(の)

前接名词、用言基本形,表示“虽然不完美、不充分,但与……相称、相适应”的意思。

例:ほかの人に何と言われようと、ぼくはぼくなりになやるつもりです。/ 不管别人怎么说,我都打算按自己的想法去做。

20 ~に~を重ねる

在「~」处插入同一动名词,表示动作的重复进行,起加重语气的作用。

例:苦勞に苦勞を重ねて、ついに我が子を一人前にした。/ 含辛茹苦,终于把自己的孩子培养成了有出息的人。

2000年日本語能力テスト1級読解

問題Ⅰ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

100年ほど前にあたる1900年のとき、地球上の人口はおよそ16億人であった。それが現在、55億人になっている。

私たちが金魚鉢の金魚だと思えばよい。3匹の金魚が突然3.5倍の11匹に増えれば水が濁るように、3.5倍も人口が増えれば環境に何らかの悪い影響が出るのは当然であろう。この人口のまま止まればまだよいのだが、(中略)たいへんな勢いでまだ増え続け

ている。1991年での世界人口の増加率は1.7%と推定されているが、それで計算すると、人口は40年間で倍増することになる。この増大傾向の修正のためには、地球上の私たち全員のライフスタイルの見直しが急務である。それにはどのような課題があるのだろうか。(中略)

1つは私たち全員の価値観の問題である。伝統的価値観として「子沢山」が望ましいと見なす民族は世界でも少なくない。私たちの民族もそうである。子沢山を祝福する気持ち^(注2)が私たちの国では現在でもあり、にぎやかな家庭の幸福像を描きがちである。1989年に、1人の女性が一生の間に平均して何人の子供を産むかという合計特殊出生率が1.57になったときに、1.57ショックといって大騒ぎになった。その騒ぎも、この価値観と関連している。そのときに、子供が1人ではかわいそうだ、日本の将来の労働力の減少をどうするのか、というような指摘があった。自民族の人口の減少に対する警戒心はたいへん強いのである。もちろん、ここでは国や民族レベルでの議論をしているのであって、個別の家族の子沢山の是非を論じているのではない。

2つ目の問題は社会システムの問題である。とくに貧困と差別について考える必要がある。国の経済力不足などで国の社会保障が十分でないと、老後などを心配して国民はある人数の子供をつくろうとする。また、貧しい家族は子供に家族の労働力を期待して子沢山になる傾向が見られる。

さまざまな差別が人口に関わるライフスタイルに影響を与えるが、とくに男女差別は直接的な影響を与える。環境と開発に関する世界委員会がまとめた『地球の未来を守る

ために』(Our Common Future)は女性の地位の向上が子供数の減少につながると指摘したが、これは大切な指摘であろう。女性の地位が向上すれば、家族内での子供を産むかどうかということについて女性の発言権が増大し、そのような社会^⑤においては子供の数が減少する。また、女性の雇用機会が十分に与えられている社会では、婚姻年齢^(注3)が上昇し、そのことが子供数の減少につながっているという。

(鳥越皓之編『環境とライフスタイル』有斐閣アルマによる)

(注1) ライフスタイル:生活する上での価値観や考え方、生活様式

(注2) 子沢山:子供の数が多きこと

(注3) 婚姻:結婚

【問1】 ①「この人口のまま止まればまだよい」とあるが、どういう意味か。

- 1 人口はまだ勢いよく増えているから環境を守ることができる。
- 2 人口の増加率が現在と同じ程度であれば環境への影響はない。
- 3 今以上に人口が増えなければ環境の悪化もそれほどではない。
- 4 人口が100年前と同じ16億人であれば環境への影響はない。

【問2】 ②「ライフスタイルの見直しが急務である」とあるが、どうしてライフスタイルを急いで変える必要があるのか。

- 1 ライフスタイルを変えれば、人口の増加率を低くしていくことができるから。
- 2 ライフスタイルを変えれば、人口が増えても環境に悪い影響を与えないから。
- 3 ライフスタイルを変えれば、食料生産が間に合って生活が豊かになるから。
- 4 ライフスタイルを変えれば、日本でも子供の数を増やすことができるから。

【問3】 ③「その騒ぎも、この価値観と関連している」とあるが、どういうことか。

- 1 日本で1人の女性が一生の間に産む子供の数が減ったことは、子供は要らないという現在の家族観に合致するということ。
- 2 日本で1人の女性が一生の間に産む子供の数が減ったことは、子供の数が多きほうがよいという伝統的な家族観に反するということ。
- 3 日本で1人の女性が一生の間に産む子供の数が増えたことは、子供は要らないという現在の家族観に反するということ。
- 4 日本で1人の女性が一生の間に産む子供の数が増えたことは、子供に数が多いほうがよいという伝統的な家族観に合致するということ。

【問 4】 ④「国民はある人数の子供をつくろうとする」とあるが、どうしてそうするのか。

- 1 国全体で老人より若い世代が多いほうが、労働力が豊かでいいと考えるから。
- 2 平均寿命が短いから、子供もたくさんつくっておいたほうがいいと思うから。
- 3 親が死んだあとに、子供が一人残ってしまうのはかわいそうだと思うから。
- 4 何人か子供がいれば、年を取ってから世話をしてもらえると考えるから。

【問 5】 ⑤「そのような社会」とあるが、どういう社会か。

- 1 夫が子供の数を決められる社会。
- 2 男女差別がまだ強く残っている社会。
- 3 妻の意見が尊重される社会。
- 4 老後の保障が十分でない社会。

【問 6】 この文章のまとめとして最も適当なものはどれか。

- 1 日本の女性が一生の間に産む子供の数が 1.57 人にまで減ったのは、国や民族の存続に関わる大きな問題だ。
- 2 人口の増大傾向を止めるには、子沢山を望ましいとする価値観を変え、貧困や男女差別をなくす必要がある。
- 3 家庭内の女性の地位が向上し、女性の雇用機会が十分あれば、男女差別もなくなるし環境問題も解決できる。
- 4 地球の環境を守るためには、人口増加率をおさえて 100 年前の 16 億人程度にまで減らさなければならない。

❖ 题目定位

这道题目难度中等偏难，难度等级定位为 3。因为话题比较具有社会性，而且日语学习者对这一话题并不陌生。

❖ 参考译文

100 年前的 1900 年，地球上的人口大约是 16 亿人。而现在已经达到 55 亿人。

可以把我们想像成鱼缸中的金鱼。如果 3 条金鱼突然增加到 3.5 倍的 11 条，水就会变得浑浊，如果人口增加 3.5 倍，当然对环境会产生某些不良影响。这些人口就此停止增长的话尚且还好，（中间省略）但是还在以猛烈的气势不断增加。1991 年的世界人口增长率推定为 1.7%，因而以此计算的话，人口在 40 年间就会增加 1 倍。为了纠正这种增大倾向，我们地球上全体成员急需重新审视生活方式。其中有怎样的课题呢？（中间省略）

第一是我们全体的价值观问题。作为传统的价值观,在世界上希望“孩子众多”的民族并非少数。我们的民族也是这样。在我们国家即使现在祝愿孩子众多的心情也是有的,而且习惯描绘热闹家庭的幸福景象。在 1989 年,一个女性一生中平均生育几个孩子,这一合计特殊出生率达 1.57 的时候,称为 1.57 冲击,世界哗然。那种哗然也关系到这一价值观。那时候,出现了一个孩子很可怜、日本将来的劳动力减少怎么办这样的指责。对本民族人口减少的警惕心非常强烈。当然,这里论述的是国家和民族层面,而并非论说个别家族孩子众多的好与坏。

第二个问题是社会体系的问题。特别需要考虑到贫困和歧视。如果由于国家的经济能力不足等方面的因素而造成国家的社会保障不充分,那么国民会担心晚年的生活等问题,就要生育一定数量的孩子。并且,贫困的家庭期待孩子成为家庭的劳动力,由此孩子众多的倾向可见一斑。

各种各样的歧视对人口的生活方式会产生影响,特别是对男女歧视会产生直接影响。有关环境和开发的世界委员会总结的《为了保卫地球的将来》(Our Common Future)指出,女性地位的提高关系到孩子数量的减少,这是重要的提示吧。如果女性的地位提高,关于家族内是否生孩子,女性的发言权增大,在那样的社会中,孩子的数量将会减少。并且,在充分给予女性工作机会的社会中,结婚年龄提高,这种情况关系到孩子数量的减少。

◆ 难点解析

问 1 答案:3

「この人口のまま止まればまだよいのだが、(中略)たいへんな勢いでまだ増え続けている。」这句话在文章的第二段。即是说如果是保持现在的情形还可以接受,可是实际增长的趋势并没有变。所以选 3。

问 2 答案:1

「この増大傾向の修正のためには、地球上の私たち全員のライフスタイルの見直しが急務である。それにはどのような課題があるのだろうか。」在第二段的最后部分指出抑制人口不断增加的办法,下面分几个方面讨论。所以选 1。

问 3 答案:2

「そのときに、子供が 1 人ではかわいそうだ、日本の将来の労働力の減少をどうするのか、というような指摘があった。」接在所提问的句子后面。可以看出,以前的日本社会中认为,只有一个孩子可怜,也影响将来的劳动力。所以选 2。

问 4 答案:4

「国の経済力不足などで国の社会保障が十分でないと、老後などを心配して国民はある人数の子供をつくろうとする。」这句话在第四段中,前半句为问题的原因。可以看出,多生孩子是因为国家经济水平不是很好,人们担心老了之后的生活问题。所以选 4。

問 5 答案:3

「女性の地位が向上すれば、家族内での子供を産むかどうかということについて女性の発言権が増大し、そのような社会においては子供の数が減少する。」这句话在最后一段,前半句表明女性社会地位上升。所以选 3。

問 6 答案:2

这道题是主旨题。文中作者先是提出人口不断增长的问题,又提出了自己的观点和认为应该采取的方法。所以选 4。

問題Ⅱ 次の(1)から(4)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適切なものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)

年齢というのは、相手を理解する上での重要なキーワード^①だと、わたしは思っている。

同じく、自分を理解してもらう上での重要なキーワードでもある。

「同じ世代だったんですね。じゃあ、あれ、ご存じでしょ」

ということもあれば、

「へえ、十歳違うと、やっぱり考え方が異なってくるものですね」

ということもあるだろう。

それにわたしは、自分の年齢を恥じたりしていない。若くして亡くなる人もいるとい

うのに、わたしはいま現在で半世紀もの年月を生きることができた。いやなこともいいこともいっぱいあったが、そのどれもが、かけがえのないわたし^(注1)の人生、一年たりとも否定したりごまかしたりしたくはない。

しかし、かなりの文化人ではあっても、女性の中には年齢を公にしたがらない方がけっこういらっしゃるようだ。あるシンポジウムに参加した時、パンフレットのパネラー紹介で、わたしのところだけ年齢がなかった。他のパネラーは男性で、全員、ちゃんと年齢が記されている。どうしてでしょうと問い合わせると、女性の方は年齢を入れないでほ

しいとおっしゃる方が多いので、と言われた。つまり、勝手に気遣って、わたしだけ年齢を伏せてくださったというわけだ。よけいなお世話である。ひとこと、どうしますかと

尋ねてほしかったのにと、かえって腹がたった。^②

(山崎洋子「年齢は堂々と口にしよう」『笑顔』1999年2月号 保健同人社による)

(注1) かけがえのない:他に代えられない、大切な

(注 2) シンポジウム:ある問題についての意見や研究結果の発表会

(注 3) パネラー:シンポジウムなどの講師・発言者

(注 4) 気遣う:相手のために思って、いろいろ配慮する

(注 5) 伏せる:人に知られないようにする。知らせない

【問 1】 ①「重要なキーワードだ」とあるが、なぜキーワードなのか。

- 1 お互いを理解するのに重要な手掛かりになるから。
- 2 自己紹介の時に言わなければならない事柄だから。
- 3 見かけにだまされないようにするのに重要だから。
- 4 年齢が違えば話し方を変えなければいけないから。

【問 2】 ②「自分の年齢を恥じたりしていない」とあるが、なぜ恥じたりしないのか。

- 1 これからも長生きをする自信があるから。
- 2 今までの人生は自分にとって貴重だから。
- 3 いやなことをたくさん解決してきたから。
- 4 本当の年齢よりももっと若く見られるから。

【問 3】 ③「女性の方は年齢を入れないでほしいとおっしゃる方が多いので、
た」とあるが、だれに言われたのか。

- 1 パネラーの男性
- 2 文化人の女性
- 3 シンポジウムの主催者
- 4 シンポジウムの参加者

【問 4】 ④「かえって腹がたった」とあるが、なぜ腹がたったのか。

- 1 年齢を書かれたくなかったのに、書かれてしまったから。
- 2 パネラーは自分だけが女性で他の人は皆男性だったから。
- 3 文化人であっても年齢を公にしたがらない女性が多いから。
- 4 相手が、筆者も年齢を書かれたくないだろうと考えたから。

❖ 题目定位

这道题难度等级为 4, 其实这个话题并不具有太大难度, 但是题目发问比较有技巧, 所以给考生造成了一定的困难。

◆ 参考译文

我一直认为,所谓的年龄在理解对方上是重要的关键词。同样,在别人理解自己方面也是要点。

可能既有说“是同一时代的人呀,那么,你知道那件事吧?”,也有说“哎,差十岁的话,考虑方式果然不同呀。”。

对此我并非耻于自己的年龄的。说来有的人年纪轻轻的就死了,而我到现在却能够生活了半个世纪的岁月。虽然充满了厌恶的事情和高兴的事情,但是它们都是我宝贵的人生,每一年我都不想否定和蒙混过去。

然而,似乎即使是相当有名的文化人,有许多女性也不愿公开自己的年龄。参加某次研讨会的时候,在宣传品的成员介绍中,只有我的介绍部分没有年龄。其他成员都是男性,全都详细地记载着年龄。当我询问为什么时,他们告诉我说因为许多女性不希望写入年龄。也就是说,想当然地,只把我的年龄隐瞒了起来。真是多此一举。本来想问一下怎么办,反倒招来了不满。

◆ 难点解析

问 1 答案:1

「年齢というのは、相手を理解する上での重要なキーワードだ。」这句话在第一段中,可以看出是互相理解的意思。所以选 1。

问 2 答案:2

「いやなこともいいこともいっぱいあったが、そのどれもが、かけがえのない私の人生、一年たりとも否定したりごまかしたりしたくはない。」在这一段中讲的都是为什么我不觉得自己的年龄有什么不好意思。所以选 2。

问 3 答案:3

「どうしてでしょうと問い合わせると、女性の方は年齢を入れないでほしいとおっしゃる方が多いので、と言われた。」这句话中可以看出,是作者询问主办方被告知有很多女性提出这样的要求。所以选 3。

问 4 答案:4

「どうしてでしょうと問い合わせると、女性の方は年齢を入れないでほしいとおっしゃる方が多いので、と言われた。」这句话中可以看出,是作者想询问主办方,可是主办方不满。所以不满的是主办方。所以选 4。

(2)

「ごちそう」は、もともと「馳走」という漢語から出たことばです。「馳走」は「走りまわる」「かけめぐる」という意味ですが、つまり、食事を作るために、その材料を集めるのに、あるいは煮たり焼いたりするのに、身体をいそがしく動かさなければならず、その労苦へのねぎらいと感謝から発せられる「あいさつ」のことばで、「ご苦労さまでした」「お疲れさまでした」^(注1)「お造作をかけました」^(注2)「ありがとうございました」といったニュアンスのことばであるわけです。

だから、なにも料理にかぎったことではなく、たとえばとなりの家へもらい風呂に行ったとき、風呂に入った帰りがけに、^(注3)

「ごちそうさまでした」

①

というあいさつが、今でもつかわれる場合があるのではないかと思います。

ことにむかしは、風呂ひとつたててにしても、風呂おけに水を汲み入れ、たきぎを集めたり、つきっきりで火を燃やしたり、大変な労働をとまなう仕事であったわけですから、なおさら、「ごちそうさまでした」というあいさつがつかわれても、少しも変ではなく、また、そこにこめられた気持ちには深いものがあったといえるでしょう。^(注4)

(中略)

「ごちそうさま」は、料理そのものより、むしろ人間の心に向けて発せられる「あいさつ」なのです。

ついでにいうと、料理屋で食事をしての帰りに、店の人に、

「ごちそうさま」

という人がいますが、わたしは、それはあまりそぐわないと思っていて、つかい^(注5)
ません。^②

「お世話さま」

というのをつかいます。

もらい風呂をして、「ごちそうさまでした」といっても、お風呂屋さんでは、そうはいわない。お風呂屋さんも料理屋さんも、それが商売であり、そこで、「ごちそうさま」というのは、度をすぎたお世辞になり、いやらしいと感じるのです。「あいさつ」のことばにも、それをつかう場合の節度があるべきだと思います。^(注7)

(川崎洋『ことばの力』岩波ジュニア新書による)

(注1) ねぎらい: ご苦労様と思う気持ちを表す言葉や行為

(注2) 造作: 面倒、手数

(注3) もらい風呂: 自分の家に風呂がないので、近所の子の風呂に入らせてもらうこと